

2023年7月9日

主日礼拝

《礼拝》

礼拝讃美歌⇒38番（旧23番）（RM姉）

『世々に誉むべし』

聖書⇒イザヤ書 53:3~7節（MM姉）

『彼は軽蔑され、人々に見捨てられ／多くの痛みを負い、病を知っている。

彼はわたしたちに顔を隠し／わたしたちは彼を軽蔑し、無視していた。

彼が担ったのはわたしたちの病／

彼が負ったのはわたしたちの痛みであったのに／

わたしたちは思っていた／神の手にかかり、打たれたから／彼は苦しんでいるのだ、と。

彼が刺し貫かれたのは／わたしたちの背きのためであり／

彼が打ち砕かれたのは／わたしたちの咎のためであった。

彼の受けた懲らしめによって／わたしたちに平和が与えられ／

彼の受けた傷によって、わたしたちはいやされた。

わたしたちは羊の群れ／道を誤り、それぞれの方角に向かって行った。

そのわたしたちの罪をすべて／主は彼に負わせられた。

苦役を課せられて、かがみ込み／彼は口を開かなかった。

屠り場に引かれる小羊のように／毛を刈る者の前に物を言わない羊のように／彼は口を開かなかった。』

礼拝讃美歌⇒112番（旧189番）

『血潮したたる』

聖書⇒フィリピの信徒への手紙 2:1~5節（HT姉、MY姉）

『そこで、あなたがたに幾らかでも、キリストによる励まし、愛の慰め、“霊”による交わり、それに慈しみや憐れみの心があるなら、同じ思いとなり、同じ愛を抱き、心を合わせ、思いを一つにして、わたしの喜びを満たしてください。何事も利己心や虚栄心からするのではなく、へりくだって、互いに相手を自分よりも優れた者と考え、めいめい自分のことだけでなく、他人のことにも注意を払いなさい。互いにこのことを心がけなさい。それはキリスト・イエスにもみられるものです。』

礼拝讃美歌⇒218番

『わが知恵より』

《パン裂き》

聖書⇒ルカによる福音書 4:16~21 節 (ES 姉)

『イエスはお育ちになったナザレに来て、いつものとおり安息日に会堂に入り、聖書を朗読しようとしてお立ちになった。預言者イザヤの巻物が渡され、お開きになると、次のように書いてある個所が目に留まった。

「主の霊がわたしの上におられる。

貧しい人に福音を告げ知らせるために、／

主がわたしに油を注がれたからである。

主がわたしを遣わされたのは、／

捕らわれている人に解放を、／

目の見えない人に視力の回復を告げ、／

圧迫されている人を自由にし、

主の恵みの年を告げるためである。」

イエスは巻物を巻き、係の者に返して席に座られた。会堂にいるすべての人の目がイエスに注がれていた。そこでイエスは、「この聖書の言葉は、今日、あなたがたが耳にしたとき、実現した」と話し始められた。』

聖書⇒ルカによる福音書 10:21, 23~24 節

『そのとき、イエスは聖霊によって喜びにあふれて言われた。「天地の主である父よ、あなたをほめたたえます。これらのことを知恵ある者や賢い者には隠して、幼子のような者にお示しになりました。そうです、父よ、これは御心に適うことでした。

それから、イエスは弟子たちの方を振り向いて、彼らだけに言われた。「あなたがたのしているものを見る目は幸いだ。言うておくが、多くの預言者や王たちは、あなたがたが見ているものを見たかったが、見ることができず、あなたがたが聞いているものを聞いたかったが、聞けなかったのである。』

(式)

礼拝讃美歌⇒152番 (旧 65番)

『神の御前には』

《建徳》

聖書⇒マタイによる福音書 5:43~45 節 (ES 姉)

『あなたがたも聞いているとおりに、『隣人を愛し、敵を憎め』と命じられている。しかし、わたしは言うておく。敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい。あなたがたの天の父の子となるためである。父は悪人にも善人にも太陽を昇らせ、正しい者にも正しくない者にも雨を降らせてくださるからである。』

聖書⇒マタイによる福音書 11:28~30 節 (EK 兄)

『疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。わたしは柔和で謙遜な者だから、わたしの軛を負い、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたは安らぎを得られる。わたしの軛は負いやすく、わたしの荷は軽いからである。』

礼拝讃美歌⇒216 番

『キリストには代えられません』

礼拝讃美歌⇒469 番 (旧 28 番曲)

『功なきわれを』

《建徳要旨》